

平成 26 年度第 1 回岩手県高齢者福祉・介護保険推進協議会における  
各委員からの意見への対応

	意 見	対 応
1	サービス付き高齢者向け住宅の入居者について、年金額の水準や家賃の平均額を教えてください。	いわての保健福祉支援研究会と連携し、現在、実態調査を行っています。
2	介護人材の不足が深刻であるので、いきいきプラン等の計画に介護人材を増やす取組みを入れていただきたい。	ご意見を踏まえ、プランに盛り込むこととしたいと考えております。 (プラン各論 第9の1等)
3	特別養護老人ホームへの認知症の方の入所基準等についてなるべく早く示していただきたい。	国において改正が進められている入所指針(案)について逐次情報提供を行っています。  なお、特列入居の判断は各施設において行うため、特別養護老人ホーム等で構成する岩手県社会福祉協議会・高齢者福祉協議会において国の入所指針(案)に基づき本県の指針(案)の検討が行われており、市町村の意見も踏まえて取りまとめられる予定です。
4	在宅医療と介護の連携について、計画に連携を記載する場合は、言葉だけでは分かりにくいので、どのような連携か詳しく記載していただきたい。	連携のあり方については、図表や事例を盛り込む等、分かりやすい記載となるよう工夫していきます。
5	計画策定にあたって、課題や問題となっていることを優先的に取り上げていただきたい。介護人材の不足は内陸部でも課題であり、また、福祉の専門学校も定員割れの状況であるので、その点の対応も必要である。	ご意見を踏まえ、介護人材について、プランに盛り込むこととしたいと考えております。 (プラン各論 第9の1等)
6	居宅サービスが分かりづらいため、施設サービスに行きがちであることから、居宅サービスの具体的な使い方について県でPRしていただきたい。	ご意見を踏まえ、プランに盛り込むこととしたいと考えております。 (プラン各論 第3の2)
7	地域の力を借りるという流れが福祉以外でもあるため、地域の負担が増えていくことから、地域の力を上手く育てていく必要がある。	御意見を踏まえ、プランに盛り込むこととしたいと考えております。(プラン各論第1の2、第7の2等)

	意 見	対 応
8	サービスが増えれば若い人たちの負担が増え、世代間の格差の問題が生じることから、計画策定にあたって若い世代の人たちの参加が必要である。	計画については、パブリックコメントや地域説明会の開催等により、高齢者をはじめ幅広く県民の方々から御意見を伺い策定を進めていきます。
9	口腔機能の向上は介護予防や認知症の症状の軽減に効果的であることからプランに入れていただきたい。	御意見のとおり、プランに盛り込むこととしたいと考えております。(プラン各論第5の2)
10	歯科医師会では、在宅医療を推進する連携室を作りケアマネ協会さんとの連携等を行っているので、その点も加味していただきたい	御意見のとおり、プランに盛り込むこととしたいと考えております。(プラン各論第4の2)
11	ケアマネの質の向上のため、研修等の支援をお願いしたい。	ケアマネの資質向上のため、(公財)いきいき岩手支援財団を指定研修機関として各種研修を実施しています。また、介護サービスの質を高めることを目的とした相談・支援の窓口としてケアマネ支援センターを設置しています。 また、ご意見を踏まえ、プランに盛り込むこととしたいと考えております。 (プラン各論 第9の1等)
12	人材不足について、高齢で既に退職した方の活用を検討してはどうか。	介護人材マッチング事業により、年齢を問わず、未経験者に対する介護分野への就労支援や、介護分野経験者及び潜在的有資格者の方々の就労支援を行っており、引き続き実施する方向で検討しています。 また、ご意見を踏まえ、プランに盛り込むこととしたいと考えております。 (プラン各論 第9の1等)
13	ひとり暮らしの高齢者の見守りについて、民生委員だけではなくヤクルト等企業の活用を検討してはどうか。	御意見のとおり、プランに盛り込むこととしたいと考えております。(プラン各論第7の2)
14	地域での見守りには限界があるので、成年後見制度について検討してはどうか。	御意見のとおり、プランに盛り込むこととしたいと考えております。(プラン各論第2の2)

	意 見	対 応
15	建築基準法について、住宅建設に関して提案ができるのではないかな。	本計画は、介護保険法及び老人福祉法に基づき、本県の高齢者福祉・介護施策を推進する計画として策定するものですので、いただいた御意見を本計画に盛り込むことは難しいと考えておりますが、県政への貴重な御意見として、県の関係課等につなぐこととしております。
16	介護保険にいろいろと集中しているが、高齢者にとっての本当の安心感について意見を汲み上げる努力をしていないのではないかな。	計画については、パブリックコメントや地域説明会の開催等により、高齢者をはじめ幅広く県民の方々から御意見を伺い策定を進めていきます。
17	生命保険、傷害保険について、加入していれば確実に支払ってもらえるような保険に関する提案ができるのではないかな。	本計画は、介護保険法及び老人福祉法に基づき、本県の高齢者福祉・介護施策を推進する計画として策定するものですので、いただいた御意見を本計画に盛り込むことは難しいと考えております。
18	今回の資料に安心、安心感という言葉が多く使われているが、安心という言葉は宗教的、政治的なことでは比較的使われるが、このような具体的なものの策定が伴うときにはなるべく使わないように、他の言葉で言い換えてみる努力した方がいい。	「安心」という用語は、公的な文書でも用いられており、また、今回のプランにおいては、施策の基本方針などにおいて、その目指す方向性として「安心して生活できる」といった使用を考えているところですので、趣旨を御理解いただきますようお願いいたします。
19	計画策定にあたって、どういう問題があるのかを深く議論し、字面だけをきれいにまとめるのではなく、問題がある部分はこういう問題があるということを注記して、少しずつ解決していくというような計画があってもいいのではないかな。	問題、課題を丁寧に拾い上げ整理し、推進協議会において御意見をいただく時間を長く確保できるよう配慮して進めていきます。